

日本体育協会

総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン

特集

若い世代がクラブ運営に参画しているクラブ

30歳代の男性スタッフが多いクラブ…情熱からの繋がり
～とうまスポーツクラブ～

ココに注目!

- ① キーパーソン（岡本大志さんと上野和香子さん）
- ② 30代の男性スタッフが多い理由
- ③ 元気が伝わるクラブ創り

1 キーパーソン（岡本委員長と上野事務局長）

■クラブづくりのきっかけ

とうまスポーツクラブの設立には、2人のキーパーソン（岡本大志委員長と上野和香子事務局長）がいます。事務局長である上野和香子さんは地域の柔道スポーツ少年団の指導者であり、オリンピックメダリストの母でもあります。岡本大志さんは、上野さんに柔道スポーツ少年団の練習に誘われたことがきっかけで柔道スポーツ少年団の指導者として活動しています。

5年程前、上野さんが総合型クラブのことを知り、当麻町でのクラブづくりを目指した際、岡本さんは上野さんの熱意を受けてともにクラブづくりに関わりました。

2 30代男性の運営スタッフが多い理由

■なぜ若い運営スタッフが多いのか？

設立準備委員会を立ち上げる段階で、上野事務局長以外の方々がほとんど30代でした。これは、ひとえに上野事務局長の人柄によるものだと思います。設立準備委員会が立ち上がった後、設立に向けて設立準備委員の口コミで新たに参加者を募ったところ、運営委員（スタッフ）の多くが30～40代となりました。

■世代交代について

現在、クラブには30～40歳代と比較的若い世代が多いのですが、10～20年の期間でスタッフの入れ替えを図っていかなければいけないと考えています。経験を積ませるためにも早い段階でのスタッフの入れ替えも必要です。

■次世代につなぐ

100年つづくクラブを目指すためには、経験豊かな世代から、新しい考えを持つ世代まで様々な意見が必要です。今のスタッフにこれから様々な方々を加え活動していきます。次の世代の夢をつなぐために、自分たちが夢をつないでいきます。

3 元気が伝わるクラブ創りに

クラブづくりに必要なものは、スタッフの熱意だと思います。スタッフそれぞれがクラブの理念を忘れることなく、

それに向かう熱い気持ちを持っていれば、必ず人はついてきます。

最後に、このクラブには「楽しいからやろう!」と言いつつ雰囲気が常にあります。会議でも一人一人の話を真剣に聞き、前向きに取り組む姿があるクラブです。地域のため、住民のためにたくさんの正しい汗をかいているクラブ!こんなクラブが増えるといいですね。

■クラブの今後

クラブライフの充実を図るために継続活動を増やし、さらに会員数を増やしたいと思います。また、スポーツ活動の推進にあたる様々な関係機関と連携を深め、地域に根差したクラブ運営を目指していきたいです。現在、NPO法人化に向け動き出しており、さらなる飛躍に向け準備が始まっています。



(北海道クラブアドバイザー 久保田 智)

クラブプロフィール

設立年月日：平成25年3月6日

地域：北海道当麻町

運営：会員数90人

予算規模1,800,000円(平成25年度)

特徴：小規模ではあるが、地域の方誰もが楽しく参加できるスポーツクラブ。

連絡先：とうまスポーツクラブ 理事長 岡本大志

TEL：0166-84-2189 FAX：0166-84-2189

E-mail：tohma.sc2013@gmail.com

クラブHP：<http://tohma-sc.main.jp/>